

FD 委員会 平成 29 年度総括

FD 委員長 渡邊浩文

1. 平成 29 年度当初の計画（提出済みですが、簡潔に記載してください。）

1) 教員の資質向上事業

各種研修会の実施、教員の教育改善への支援、教員の研究・社会貢献活動の推進支援

2) 教育、研究環境の整備事業

「授業評価アンケート」の効果的な実施と教育改善、「大学評価アンケート」「大学院評価アンケート」の改善施策、代議員幹事会ほか関連する他委員会等との連携

3) FD 活動の全学的高揚事業

各事業への参加率の向上、大学 HP における本学 FD 事業活動及び関連情報の提供

2. 平成 29 年度内に実施できたこと

1) 教員の資質向上事業

STAC 等の教務サブシステムが平成 29 年度更改されるのを機に、新システム研修会を教務委員会・情報サービスセンターと共に複数回開催した。

授業評価アンケートを通じての教員の教育改善（教員表彰・授業改善計画書）を実施した。また教員表彰（研究・社会貢献活動）を実施した。

教員表彰（教育分野）の評価・選考方法について改訂することとした。

2) 教育、研究環境の整備事業

授業評価アンケートにて継続的に総合評価が低い科目について、その改善を所管部局に検討依頼した。

大学評価アンケートを、教員の教育分野表彰に活かすべく改訂を行った。

代議員幹事会ほか関連する他委員会との連携による FD・FSD 研修会を開催した。

3) FD 活動の全学的高揚事業

教務サブシステムおよび LMS の更改に併せ、その利活用促進を他部局等連携のもと実施した。

3. 平成 29 年度内に実施出来なかったこと（その理由）

教員表彰（研究・社会貢献活動分野）の改善につき、そもそもの目的・評価内容・評価方法について議論を行ったが、成案には至らなかった。次年度には成案としたい。

4. 「学長諮問事項」進捗状況について

- ・教員活動状況の評価項目、基準の再整理／学生の満足度調査の継続

→前述のとおり、教員表彰（教育分野）については新方式に移行する。教員表彰（研究・社会活動等分野）については検討中である。学生の満足度調査は継続する。